

平成22年度 平和構築人材育成事業

「本コース」概要

平成22年8月
外務省総合外交政策局
国際平和協力室

1. 目的

平和構築分野で今後、キャリアを形成していく人材の育成

2. 対象

日本人15名及びアジア人15名

3. コース概要

(1) 国内研修：明年2月～3月頃に6週間の予定

- 平和構築の現場で活躍するために必要な実践的知識（平和構築総論、DDR（武装解除・動員解除・元兵士の社会復帰支援）、SSR（治安部門改革）、安全対策等）の習得。
- 海外の平和構築人材育成機関や国際機関等との連携（共同ワークショップの開催等）。
- アジア諸国の研修員とともに受講することにより、現場での活躍に役立つ国際感覚の養成。

(2) 海外実務研修：国内研修終了後から最長12か月の予定（原則として日本人のみ）

- 国内研修終了後、国連ボランティア【注】として、平和構築に関わる国際機関等に派遣。
（別添：平成21年度「本コース」研修員の海外実務研修先）
- 業務内容は派遣先機関・地域により様々。

【注】国連ボランティアは、国連の一機関である国連ボランティア計画（UNV）により、世界各地の国際機関やPKOミッション等に派遣され、ボランティア精神に基づき、平和構築や開発支援に従事。

4. 使用言語

英語

5. 研修員の募集

(1) 募集開始時期：平成22年9月上旬以降

(2) 主な応募資格

平和構築に関連する諸分野（法律、行政、教育、保健・衛生、後方支援（調達、IT、航空管制、メディア等を含む）等）で、2年以上の実務経験があり、かつ、大学学部卒相等の学位を有し、今後、平和構築支援のために活躍する強い意志を有する者。

6. 研修参加に係る費用

- 研修参加費：約30万円
- 国内研修中の宿泊費及び国内移動費は事業実施団体が負担。
- 海外実務研修中はUNVより、平和構築の現場での生活に最低限必要な手当として、①着任手当、②生活手当、③住居手当、④保険、⑤移動費、⑥危険地手当、⑦住居の安全対策に係る費用等が支給される。

7. 就職支援

- 国内研修開始時から、将来のキャリアプラン作りを支援。国際機関等への就職に必要なスキル（履歴書作成、面接やコミュニケーションのスキル等）を指導するほか、国連機関などの空席情報の提供を行い、現職の専門家とのネットワーク形成を支援。
- 人材データベース（ロスター制度）等を通じ、就職を支援。

※今後、事業委託先決定後、事業委託先との協議により内容が変更されることがあります。